

Program

グリーグ:ヴァイオリン・ソナタ 第2番ト長調 作品13

Grieg: Violin Sonata No.2 in G major Op.13

サン＝サーンス:ヴァイオリン・ソナタ 第1番ニ短調 作品75

Saint-Saëns: Violin Sonata No.1 in D minor Op.75

J.S. バッハ:シャコンヌ

(無伴奏ヴァイオリン・パルティータ 第2番 ニ短調 BWV1004)

J.S. Bach: Chaconne from Partita No.2 in D minor, BWV 1004

ドビュッシー (ロレンツェ編曲):月の光

Debussy(arr.Roelens): Clair de lune

ラヴェル:ツィガーン

Ravel: Tzigane



出演

レイ・チェン (ヴァイオリン)

Ray Chen, Violin

フリオ・エリザルデ (ピアノ)

Julio Elizalde, Piano

クラシック音楽家の定義を変える
ヴァイオリン界の寵児

RAY CHEN

ヴァイオリン・リサイタル 2020

レイ・チェン

2020.4/27 [月] 19:00開演 18:20開場
21:00終演予定

東京オペラシティ コンサートホール

(京王新線初台駅東口に直結)

7:00p.m., Monday, April 27, 2020, at Tokyo Opera City Concert Hall

料金: S席¥6,500 / A席¥5,000 / B席¥3,000

ジャパン・アーツ夢倶楽部会員料金: S¥5,800 / A¥4,500 / B¥2,700

※料金には消費税が含まれています。※特別割引料金については裏面をご覧ください。

※ジャパン・アーツ夢倶楽部会員等の先行発売で満席になった席種は、以降発売されない場合がございます。

〈ジャパン・アーツ夢倶楽部会員WEB: 11月16日(土) / 同 TEL: 11月17日(日)〉

〈ジャパン・アーツぴあネット会員WEB: 11月21日(木)〉

ジャパン・アーツぴあ

0570-00-1212

www.japanarts.co.jp/

東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

チケットぴあ t.pia.jp 0570-02-9999 [Pコード: 166-933]

イープラス eplus.jp

ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード: 31339]

主催: ジャパン・アーツ

一般発売
11/23
(土・祝)

いま、もっとも勢いのあるヴァイオリニストのひとり、レイ・チェンは幅広いレパートリーを備えているが、ひとつの作品と対峙するとき、膨大な練習量と時間をかける。

「モーツァルトのひとつのカデンツァには50時間くらいかけ、じっくりモーツァルトと向き合い、その内面の暗い部分が理解できたときにカデンツァが頭に浮かびます。」

いずれの作品も、作曲家の魂に分け入るように奥深く入り込まないと、その真意は理解できません」

レイ・チェンはクリストフ・エッセンバッハをはじめとする偉大な指揮者との共演も多く、ブルッフのコンチェルトなどを得意とするが、ベルリン・フィルのメンバーと結成したメイド・イン・ベルリン(弦楽四重奏団)とも「月の光」をはじめとする名曲を録音。名曲が新たな光を放って耳に心地よく浸透してくる。

バッハの《シャコンヌ》も愛奏曲で、「僕にとっては特別な曲です」と語っている。

2017年9月の来日時にはバッハ「無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ」全6曲を演奏したが、最後の「シャコンヌ」に至ると、とても力強く豊穡な歌が奏でられ、ようやく長大で厳格な孤独の旅が終わりを告げ、音楽が自由に天空に舞い上がっていくようだった。

レイ・チェンの魅力のすべてが開花する バラエティに富んだプログラム

伊熊よし子 (音楽ジャーナリスト)

そんなレイ・チェンの今回のプログラムはバラエティに富み、グリーグのソナタ第2番から開始。

北欧の自然と民族性を音で描き出すこのソナタは、抒情的な表現をもっとも得意とするレイ・チェンによく似合う。

サン＝サーンスのソナタ第1番はマルセル・ブルーストが愛好し、「失われた時を求めて」に登場する音楽家ヴァントウイユはこの曲から着想されたといわれる。

レイ・チェンはこうした暗い情熱と軽快さが混在した作品を小説のように、映画のように、絵画のように描き出す。最後に登場するラヴェルの「ツィガーヌ」は、

レイ・チェンの真骨頂を表す作品で録音も行い、世界中で演奏している。

ゆるやかなラッサンと急速なプリスカのふたつの部分をどう表現するかが一番の聴きどころ。

聴き手の心は限りなく高揚し、至福の時間が味わえるに違いない。



レイ・チェン(ヴァイオリン) Ray Chen (Violin)

21世紀のクラシック音楽家の定義を変えるヴァイオリニスト。現代テクノロジーによる新しい機会を活用し、ソーシャル・メディアに登場することで、アーティストとファンとの新たな関わり方を示す先駆者となっている。台湾に生まれ、オーストラリア育つ。15歳でカーティス音楽院へ入学。ユーディ・メニューイン国際コンクール(2008年)とエリザベト王妃国際コンクール(2009年)での優勝をきっかけに、注目を浴び始め、ヨーロッパ、アジア、アメリカ、オーストラリアでキャリアを築いている。2017年にデッカ・クラシックスと専属契約。これまでに、ロンドン・フィル、ロンドン響、ゲヴァントハウス管、ミュンヘン・フィル、サンフランシスコ響等と共演。また、シャイー、V.ユロフスキ、M.ホーネック、K.ペトレニコ、ウルバンスキ等の指揮者と共演している。2012年から15年まで、ドルトムント・コンツェルトハウスのレジデントを務め、2017/2018シーズンは、ベルリン放送交響楽団の「アーティスト・フォーカス」の一人となった。音楽教育に対しても非常に献身的で、音楽とコメディを組み合わせたビデオ・シリーズを自ら作製し、音楽を志す学生たちの教育に役立てている。

フリオ・エリザルデ(ピアノ) Julio Elizalde (Piano)



©Amanda Westcott

ソリスト、室内楽奏者、アーティストティック・アドミニストレーター、教育者、キュレーターなど、多方面にわたるキャリアを展開する。アメリカ、ヨーロッパ、アジア、ラテン・アメリカの主要な舞台に出演。2014年以来、ワシントン州、シアトル近郊のオリンピック音楽祭の芸術監督も務める。

これまでに、サラ・チャンやレイ・チェンと海外ツアーで共演するほか、パールマン、エイブラムス、マンソンなどの指揮者と共演。アンドリュー・ワン(ヴァイオリン)、パトリック・リー(チェロ)とともに、創設したニュー・トリオの一員でもある。サンフランシスコ出身。ジュリアード音楽院にて修士号と博士号を取得。J.ローエンター、J.カリクシュタイン、R.マクドナルドの各氏に師事。

特別割引チケット(WEBジャパン・アーツおよびジャパン・アーツあこホールセンターで受付)
★学生席(各ランクの半額) 残券がある場合2020年2月27日(木)より受付を開始します。社会人を除く公演当日25歳までの学生が対象です。当日は学生証をご提示の上、ご入場ください。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂戴いたします。)学生席はジャパン・アーツ夢倶楽部会員の方も一般価格の半額です。
★シニア・チケット 65歳以上の方はS席とA席を会員料金でお求めいただけます。
★車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。受付はジャパン・アーツあこホールセンター(0570-00-1212)にて。

(次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ) ①やむを得ない事情により、曲目・曲順等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットの、キャンセル・変更等はできません。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意下さい。③開演時間に遅れますと、長時間ご入場をお待ちいただくことになります。時間には余裕を持ってお越し下さい。④ご入場には一人1枚チケットが必要です。また、未就学児の入場はご遠慮ください。⑤本公演はすべて指定席です。お持ちのチケット以外の座席ではご鑑賞いただけません。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話の使用は固くお断りいたします。⑦ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧お席によっては舞台が見切れる場合がございます。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合があります。

Twitterで
フォローする
@japan_arts